

長嶺地域コミュニティ協議会だより

「さんろど祭」 特集号

発行日 平成 28 年 12 月 20 日 発行責任者 会長 水本直弥 編集・発行 広報部 平石三男

この広報誌は新潟市地域活動の補助金を受けて発行しました

ホームページアドレス:<http://minekomi.sakura.ne.jp>

ホームページ QR コード



12月11日(日)万代長嶺小学校の体育館に於いて「第13回～地域交流事業～SUN★SUN ろど祭」が行われました。寒い朝で時々アラレの降る空模様でしたが、大勢の参加者で体育館の中は活気づいていました。もちつき大会、万代長嶺小学校と和童の皆さんによる万代太鼓の演奏、PEACE(ピース)さんによるパフォーマンスなど盛りだくさんの模様しものに目を見張る物がありました。又、ふれあい給食会の皆さんが作ってくれた熱々のトン汁で身体を温め、キナコとアン餅を美味しく戴きました。広い体育館には地元の新鮮な野菜や発酵食品の町沼垂の味噌醤油や沼垂テラスから沼ネコ焼き、万代シティ PR キャラクター“ばんにゃい”がやって来たり、お正月に遊ぶ“鳥の形をした『鳥だこ』のワークショップなどがありました。中には長蛇の列を作っている順番待ちをしている所もありました。私は今回が初めての参加でしたが、楽しいひと時を過ごさせていただきました。

第13回 地域交流事業『SUN★SAUN ろど祭』によせて

就労継続支援 B 型事業所さんろど

所長 佐藤貴彦

地域の皆さんとの共同を目的とした地域交流事業『SUN★SUN ろど祭』も今年で13回目を迎えることができました。開催にあたりご協力をいただいた長嶺地域コミュニティ協議会の皆様をはじめとする関係団体・地元商店街の皆様には多大なるご尽力と協力を頂きましたことを感謝申し上げます。

私たちにとってこの祭りは地域の皆様との接点であり、施設活動を知っていただく上で大切な機会です。祭りの企画運営を行った施設利用者からは『大変だったけどお客さんに喜んでもらえた』『出し物の練習を頑張ってたけど緊張したけど司会を頑張った』等の感想が聞かれ、普段の施設活動では得ることのできない貴重な出会いと経験の場となりました。地域との繋がりの中で職員・利用者共に成長できる環境にすることが何よりも幸せだと感じています。

さて、さんろどがこの地域で活動を始め来年には14年目を迎えます。現在は県からの委託作業や地元商店からの受注作業に加え、農作業や新潟市の家電回収事業に加盟し家電の回収と分解等の活動も充実してきました。こうした繋がりが広がる一方、25人が通所するには現在の施設では手狭になってきました。これから先の事を考え、この地域の中で更に安心して活動できる拠点探しを行う必要に迫られている現状です。皆様より良い移転先や情報などがありましたら一報いただくと有難く思います。合わせて、今後とも施設活動にご理解とご支援を頂きますようお願い申し上げます。



『さんろど』に通う佐藤将悟さんが描いた絵画が2017年のカレンダーに採用されました。